

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 細胞膜を基盤材料とした生体組織の修復技術の開発研究
2. 研究代表者： Hara Emilio Satoshi（岡山大学 学術研究院医歯薬学域 研究准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本研究課題では、培養細胞から単離した細胞膜のみを材料として用いることで、迅速な「生体組織の修復技術」の開発を目指す。そのために、細胞膜を材料とした生体組織の修復技術の開発、メカニズムの解明、さらには、バイオニクス技術へ展開可能な細胞膜断片を用いたバイオハイブリッド材料の創出に挑んでいる。フェーズ1では、細胞膜断片を用いた組織修復の動物モデルを用いた解析を順調に進め、骨組織での迅速な修復を確認するなど、着実に成果を達成した。フェーズ2では、メカニズムの解明を、より精緻に進める等により、将来の臨床応用に向けた基盤を確立することを期待する。

以上